

平成29年度第2回函館市戸井地域審議会会議録	
開催日時	平成29年10月27日(金) 午後 2時00分～午後 2時50分
開催場所	函館市戸井支所 第3会議室
議 題	1 平成30年度地域別事業計画(案)について 2 地域振興全般に関する意見交換について 3 その他
添付資料	資料1 平成30年度地域別事業計画書(案)
出席委員	◎松田 正志 委員 ○松永 清男 委員 加藤千州雄 委員 河江 誠司 委員 植野 範子 委員 吉田美保子 委員 島本 浩伸 委員 室谷 久恵 委員 立石 祐子 委員 佐藤 真理 委員  (◎会長 ○副会長) (計 10名)
欠席委員	杉野 陽一 委員 南坪 忍 委員 野村 哲一 委員 阿部 砂織 委員 泊澤真美子 委員  (計 5名)
事務局出席者の職氏名	函館市戸井支所 支所長 川手 直樹 地域振興課長 野呂 健尚 産業建設課長 吉村 順幸 地域振興課主査 泊澤 宏一 市民福祉課長 黒田 育生 地域振興課主任主事 館山佳代子 教育事務所長 佐藤 善則 函館市企画部計画推進室計画調整課長 三原 克幸 計画調整課主査 嶽本 政弘
その他	傍聴者 なし 報道関係者 北海道新聞社・函館新聞社

**事務局（野呂課長）** 本日は、ご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。ただ今から、平成29年度第2回函館市戸井地域審議会を開催いたします。

本日の会議は、地域審議会の設置に関する規程第8条第5項の定めにより、公開としております。

また、傍聴人数につきましては、会場の都合もあり20名としておりますので、この点もご了承願います。

それでは、会議開催にあたり、松田会長からご挨拶を申し上げます。

**松田会長** 皆さん、こんにちは。

平成29年度第2回の函館市戸井地域審議会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、ご案内のとおり、平成30年度地域別事業計画（案）、そして地域振興に関する意見交換となっております。皆様方のご協力により、会議を進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、企画部および支所の各課長にもご出席をいただいておりますので、説明の際には、どうぞよろしく願いいたします。

簡単でございますが、開会の挨拶といたします。

よろしく願いいたします。

**事務局（野呂課長）** ありがとうございます。

続きまして、川手支所長からご挨拶を申し上げます。

**川手支所長** 皆様、こんにちは。

平成29年度第2回戸井地域審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

時節柄、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、戸井地域においては、毎年この時期は行事が多い月となっており、10月15日の「戸井地区文化祭」をはじめ、22日には15回目を迎える「道南駅伝競走大会」が開催されました。

今年は、これら2つの大きな行事に加えまして、「第48回衆議院議員総選挙」、また、昨日は「函館市防災総合訓練 住民参加型訓練」が開催されました。

特に、選挙の投票日には、駅伝競走大会と日程が重なりまして、地域の皆様はじめ、関係者の皆様には例年にも増して、大変お世話になったところであります。

台風の影響なども心配されましたが、天候にも恵まれ、すべて無事終了することができました。

本日出席いただきました皆様にもご協力をいただきありがとうございます。この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げます。

今回の地域審議会は、平成30年度地域別事業計画（案）の説明のほか、地域振興全般に係る意見交換などとなっておりますが、本日の会議におきましても、委員の皆様の貴重なご意見やご提言を賜りますようお願い申し上げます、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

**事務局（野呂課長）** ありがとうございます。

続きまして、本日、出席しております職員の紹介をいたします。  
企画部計画推進室計画調整課三原課長です。

**三原課長** 計画調整課の三原です。よろしくお願いいたします。

**事務局（野呂課長）** 同じく嶽本主査です。

**嶽本主査** 嶽本です。よろしくお願いいたします。

**事務局（野呂課長）** 続きまして、出席の委員の報告を申し上げます。

委員15名中、本日は、杉野委員、南坪委員、野村委員、阿部委員、泊澤委員が欠席しておりますので、出席委員は10名でございます。

それでは、これより議題に入りますが、議事の進行につきましては、地域審議会の設置に関する規程第8条第2項の定めにより、会長が議長を務めることになっておりますので、以後、松田会長に議長をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

**松田会長** 地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の過半数以上の出席要件を満たしておりますので、直ちに会議を始めます。

お手元の会議次第に沿ってまいります。

議題1平成30年度地域別事業計画案について、各所管課長から順次説明をお願いいたします。

**野呂地域振興課長** 地域振興課の野呂でございます。

資料1について説明します。

平成30年度地域別事業計画案について、ご説明いたします。

お手元に配付しています資料1の表紙の裏をご覧ください。

この資料は、合併建設計画などを基に戸井支所および企画部が平成30年度に想定されるものを掲載したものでございまして、予算要求等は不確定な状況のものです。

皆様のご意見等をお聞きしたうえで、必要性や緊急度、また、費用対効果などを十分考慮し他部局とも協議をしながら予算要求作業を進めてまいります。

それでは、1ページをご覧ください。

資料につきましては、合併建設計画の基本目標に係る主要施策を項目別に、全地域を

対象とするものと、戸井地域に関するものに分けて掲載しております。

1番右の戸井地域に関するものにつきまして、各関係課長から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

**松田会長** それでは、産業建設課長、地域振興課長、市民福祉課長、教育事務所長の各担当課長から順次説明をお願いいたします。

**吉村産業建設課長** 産業建設課長の吉村です。どうぞよろしくお願いいたします。

産業建設課所管の事業につきまして、説明いたします。

「1多様で力強い産業を振興するまちづくり」「(2)水産業の振興」に関わるもので「漁港の整備」でございますが、これは北海道が事業主体となるもので、水産物供給基盤機能保全事業としまして、釜谷漁港と小安漁港の浚渫工事を予定しております。

漁港整備事業では、漁村再生交付金事業になりますが釜谷漁港の岸壁などの整備を予定しております。

次に、「漁場の造成」であります。これも北海道が事業主体となり、水産環境整備事業としまして、小安地区にウニ礁の設置を予定しております。

次に、「ウニ・アワビ種苗等放流」であります。戸井漁協が事業主体となりウニ深淺移殖放流事業、アワビ種苗放流事業、市の事業として、ウニ種苗生産供給事業を予定しております。

次に、一番下段になります「その他関連事業の推進」であります。水産多面的機能発揮対策事業で、これは国の交付金事業で戸井漁協に事務局があります「戸井の海を豊かにする会」が事業主体となって漁場の岩盤清掃などの保全事業を予定しております。

次に、2ページをお開き願います。

「(3)農林業の振興」に係るもので「市有林等の整備」になります。現在場所は選定中ですが戸井地域内の市有林の整備を予定しております。

続きまして、4ページをお開き願います。

「2安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」の「(3)交通・情報ネットワークの形成」、「生活道路の整備」であります。平成26年度からの事業となっております。市道小安・釜谷線の改良舗装工事を予定しております。この事業につきましては、平成30年度で全線の舗装工事が完了する予定となっております。

以上で産業建設課所管の説明を終わります。

**野呂地域振興課長** 引き続き、地域振興課および他部局の所管事業について説明いたします。

4ページ「(3)交通・情報ネットワークの形成」の「その他関連事業の推進」ですが、地域内交通確保対策事業としまして、地域福祉バスと教育委員会所管のスクールバスの運行について掲載しております。

地域福祉バスは、主に学校行事やふれあい学園などの送迎に利用されております。

スクールバスにつきましては、教育委員会が所管する2台のバスにより、幼稚園、小・

中学校の送迎のほか、学校行事等に使用されております。

次に、「(5) 生活環境の整備充実」の「下水道の整備」の特定環境保全公共下水道整備事業で、これは企業局の事業であります。主な内容につきましては、公共下水道への新規接続に関する公共枿の整備となっております。

私からは以上です。

**黒田市民福祉課長** 市民福祉課長の黒田でございます。

私からは、市民福祉課所管の事業について1点ご説明いたします。

それでは、6ページをお開き願います。

「(3) 高齢者福祉の推進」の「その他関連事業の推進」のうち、「高齢者等在宅生活支援事業・東部地区外出支援サービス」で戸井地域の高齢者等送迎サービス事業ということで、戸井地区外出支援サービス事業という名称で行っております。これは、戸井地区に居住する方で、ひとり暮らし高齢者ですとか高齢者のみの世帯、あるいは身心に障がいのある世帯の方で歩行困難な方を対象に、自宅から戸井地区および旧函館市内の医療機関までを移送するサービスでございまして、戸井支所が主体となっておりますのでございます。

**佐藤教育事務所長** 教育委員会戸井教育事務所長佐藤でございます。

教育事務所で所管する事業につきまして説明させていただきたいと思っております。

6ページをお開き願います。

一番下段の「4いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」の「(1) 生涯学習の推進」の「その他関連事業の推進」でございます。

道南駅伝競走大会を開催します実行委員会に対する負担金を引き続き支出する予定となっております。

次に、7ページをお開き願います。

「5連携と交流によるまちづくり」の「(2) 国際交流・地域間連携の推進」の「その他関連事業の推進」になります。青森県大間町との地域間交流事業としまして、文化祭における交流を行う予定となっております。

**松田会長** 説明が終わりました。

それぞれ各事業については、新年度の予算要求等の参考にいたしますので、皆さんからそれぞれご要望、ご意見等をお願いいたします。

なお、発言される方は、ご起立の上、ご発言をお願いいたします。

**加藤委員** 高齢者福祉の事業で高齢者等送迎サービス事業がありますが、戸井の社会福祉協議会で行っている事業と違うものでしょうか。

**黒田課長** 今現在行っております戸井地区外出支援サービスについては、市が事業主体となって社会福祉協議会に委託して行っているものですので、同じものがございます。

**島本委員** 小安漁港の浚渫に関して聞きたい。

ここ2, 3年浚渫する量が少なく、漁組でも函館建設管理部にお願いに行ったり努力しているが、函館建設管理部では、砂の堆積場所を市で確保してもらえれば、もっと浚渫する量を増やすことができると言っているので、市の方で地元で砂の堆積場所を確保してもらいたい。

**吉村産業建設課長** 漁港の浚渫工事の関係ということでのご質問であります。漁港から浚渫した砂については、北海道が砂の受入場所を確保することになり、市では、受入先との交渉等をして確保するなど北海道に協力を行っているところであります。

戸井地域の漁港の砂の受入用地については、戸井地域内に無いものですから恵山地域に砂を持って行っている状況であり、従前から使用していた用地の他に、同じく恵山地域の別の用地を確保できました。

これに伴いまして、当面は北海道が計画する砂の量は受入可能と考えております。

ただ、島本委員のおっしゃるとおり、砂の堆積場所が近ければ近い程事業費が少なくなりますから、その分、浚渫量が多くなるということはその通りだと思います。

ただ、北海道も沢山の漁港がありまして、浚渫工事につきましては主に国の補助制度を活用して実施しており、補助枠も限られておりますことから、近くに用地を確保したからと言って幾らでもと言うことには、なかなかいかない状況にあります。

小安漁港につきましては、砂が溜まりやすいということは私どもも理解しておりますし、今年は7月に900m<sup>3</sup>位、今月中旬には緊急的に460m<sup>3</sup>程浚渫したところでありますが、それでも定置網船が底をつかえると漁協から聞いておりますので、再度浚渫工事をするよう北海道に要望しているところです。

小安漁港については、平成21年度に砂が溜まりやすいということで、東側岸壁の下側に防砂堤を造っておりますが、防砂堤と東側岸壁の間に砂が結構溜まっております。

これも漁港に砂が溜まる要因となっていると思いますので、こちらの砂の浚渫についても、平成30年度に併せて要望をしておりますので、ご理解をお願いしたいと思えます。

以上です。

**島本委員** 砂防堤と東側岸壁の間の砂については、漁組で砂を浚渫するときにトラックが通ることを説明し、了解を得ているが未だに一度も砂を浚渫していない。

漁業者は、砂が溜まれば天然昆布も砂の移動で抜けてしまうと言う人もいますので、一度この砂をきちんと浚渫していただきたい。

よろしく願いいたします。

**吉村産業建設課長** 分かりました。

**河江委員** ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムの整備ですけれども、戸井地域のひ

とり暮らしの緊急通報システムの設置状況と、これを設置するには当然予算の絡むことと思うが、必要な場合は、予算が有る無いに関わらず設置していただけるのかお尋ねします。

**黒田課長** 戸井地区では、現在83世帯の方に緊急通報システムを設置しております。また、設置につきましては予算の範囲内ということになるかと思えます。

**松田会長** 他にありませんか。

無いようでございますので、次に進めさせてよろしいですか。

(はいの声)

**松田課長** それでは、議題の2番目地域振興全般に関する意見交換でございます。

地域振興、まちづくりについて、ご意見やご要望あるいはご提言等ございましたら、発言をよろしく願いいたします。

**植野委員** 昨日、防災総合訓練があったそうですが、訓練に参加した人数や内容についてお聞きしたい。

**野呂地域振興課長** 昨日、函館市防災総合訓練「住民参加型訓練」という事業がありまして、今回23機関で総参加者数は340名位の規模で実施しております。

地域内で言いますと町会から5名から10名位で避難をする方を出してもらいました。

今回は、戸井、恵山、楳法華、南茅部の町会を主な対象者として訓練が行われ、内容につきましては、避難訓練から避難所の運営、それから避難生活が長期化した場合のエコノミー症候群対策の体操等を行っております。今回の特徴的訓練を申しますと、国道が寸断されると支援物資が運べない状況となる地域であることから、避難物資を海上輸送するという事で、海上保安庁の巡視艇が、汐首漁港に入って、そこからトラックで支援物資を避難所まで運ぶという訓練を実施しております。

また、それぞれの地域の方が、一時避難所、各会館に避難してもらいまして、そこからバスで避難所に移送するという訓練も行っております。また、遠隔地でどういう訓練が行われているのかということで、開発建設部の映像伝達装置を使用して、離れた訓練会場の様子をスクリーンに映し出す訓練も実施しております。

時間としましては、午後1時から始まりまして、2時間位で終わりましたが、各学校、幼稚園それから、潮寿荘などの社会福祉施設の方にも参加いただいて訓練を行いました。

今回、4地域の中で初めてこういう訓練を行いました。皆さん積極的に動いていただきまして訓練の内容としましてはスムーズに進みました。これから、避難所運営をする場合や避難される場合など今回の訓練を参考に、円滑にできるものと考えております。非常に有意義な訓練だったと思えます。

**植野委員** 解りました。ありがとうございます。

**吉田委員** 小安バイパスに横断歩道を設置していただきたい。

今現在、バイパスには戸井西小学校と潮光中学校に設置されていまして、山側に住んでいる児童は、学校前の横断歩道を渡って山側の歩道を歩いて家に帰るのですが、海側の団地に住む児童と道路を挟んで会話をしながら帰宅している。山側に住んでいる親から、小安西団地付近に横断歩道が出来ないかという話を聞くので、横断歩道を設置していただきたい

**島本委員** 吉田委員の話ですが、場所が自宅の前なので、子供達が話をしながら歩いているのを見ていると危ないと思う場面もある。

また、近くには、高齢者施設があり入所者が道路を横断している所を見ていて、横断歩道が無いと危ないと思っていますので、横断歩道の設置をお願いします。

**川手支所長** 横断歩道の設置については、庁内的にも協議が必要です。支所としてはできるだけ設置したいという方向で検討したいと思いますが、庁内だけでなく、いろいろな関係機関と協議も必要でありますので、地域からの意見として対応させていただきます。

**松永委員** 昨年、今年と天然昆布の減産が続いている。これは、戸井地域だけでなく市全体の問題だと思いますが、市としてこれらの問題に対して来年度の予算要求に向けて何か対策があるのか。また、道と協力して何か対策をするのかお聞きしたい。

**吉村産業建設課長** 今年の天然昆布の水揚げの状況でありますけれども、昨年度は大幅な減少でしたが、今年も昨年と比較してさらに悪い状況となっております。

今年の9月末現在の水揚げでありますけれども、数量的には昨年の46%ということで、33トンしか水揚げされていない状況にあります。

昨年は、悪い悪いといっても75トンの水揚げがありました。金額では9月末現在になりますけれども、4,900万円程昨年より少なくなっている状況にあります。

昆布の増産対策ということになります。来年度、特段新しい対策は予定しておりません。

今までの造成漁場などと同様の整備になるかと思いますが、農林水産部の水産課に意見があったことを伝え、協議をしながら、いろいろと考えていきたいと思っております。

以上でございます。

**松永委員** 天然昆布については、昨年、一昨年だけでなく年々減少している状況にある。

少なくとも、減産となっている原因調査をすべきだと思います。そして、増産対策を考えることが必要だと思います。

函館市の昆布生産量は日本一という現状にある中で、原因究明さえしていない状況に

あることから、来年度の予算要求作業をまだ行っていると思いますので、調査費を予算要求し、調査を実施するべきでないかと思います。

**吉村産業建設課長** 今まで、市の事業で行っておりますのが、先程も申し上げましたとおり、造成漁場の効果調査を行っておりますが、天然漁場の調査となれば、漁業者の方から状況を聞いたりといったような調査となります。

天然昆布に関しては、自然環境の影響が大きいのかなと思っております。

今年は悪かったです、1年物の昆布がポツポツと生えているということ、漁業者から聞いております。天然の漁場、環境の関係などについては、関係機関と良い対策がないか相談したいと思っております。

**松永委員** 何が原因で減産となっているのか、調査すらしていない状況がはがゆいというか、ただ指をくわえて減りましたねということは情けないというか、調査機関があるわけだから、市で調査依頼をするべきでないか。

**川手支所長** 戸井支所管内だけでなく、昆布やその他の漁も良くない、何とかしなければならぬということで、11月中旬に函館国際水産・海洋都市推進機構のコーディネーターと戸井地域の漁業者が、膝を交えていろんな意見交換をする懇談会の実施について、漁協や水産海洋機構とも相談し開催することとなりました。

例えばですけど、戸井地区はタコが採れない、漁業者からはネコ鮫がすごくいて、ネコ鮫がタコを食べているという話があり、ネコ鮫をどうすれば駆除できるのかといった素朴なやりとりなどから、いろんなことができれば良いなと思います。これは第1弾として、まず戸井地区でできることからやってみて、上手くいったら恵山地区でもやってみたら良いのではないかと考えております。

せっかく研究機関もありコーディネーターもいるということから、今年からやってみたいと考えております。

昆布についても、意見交換でも非常に大きな話題になると思います。

**松田会長** その他、ございませんか。

無いようでございますので、次の議題にいきたいと思っております。

議題の3番目、その他でございますが、何かご意見などございませんか。

**佐藤教育事務所長** 前回の第1回の地域審議会の時に学校再編について報告をさせていただきましたが、それから3か月程経っておりますので、この間の経過をご報告させていただきます。

前回、7月28日の地域審議会で、学校4会場で保護者等に説明してまいりましたことを受けて、教育委員会の方針としまして小学校2校、中学校2校をそれぞれ1校にする。校舎に関しましては、現在の潮光中学校の位置、開校の時期については、平成33年4月予定ということで合意をいただきまして、8月17日に教育委員会定例会で再度

審議して決定したということでございます。

この後、新聞等で昨年から報道されているところもありますが、義務教育学校の関係になります。

この件につきましては、平成28年度から新しくできた制度でありますし、教育委員会としましては説明会で、皆様のご理解をいただきながら進めさせていただきたいと説明させていただきました。

9月15日に、第1回目の義務教育学校の説明会を学校関係者を中心に開催させていただきました。PTA会長、学校評議委員、町会長に対して説明させていただきました。

平成28年度から、この義務教育学校を導入しております中標津町の計根別学園から校長先生をお呼びいたしまして、9月28日に学習会を開催しております。

これにつきましては、広く募らせていただきまして関係者約45名位お集まりいただきました。

これで説明会は終わりということではなく、今後とも説明会を行い、事業を進めようということでございますので、皆様のご理解を得ながらというスタンスは変わりありませんので、説明会がございましたら、ぜひ皆様のご参加をお願いしたいと思います。

以上でございます。

**松田会長** ただ今の小中一貫校についてなにかございませんか。

無ければ事務局なにかありますか。

**事務局（泊澤主査）** 皆様のお手元に、平成29年度の第1回の地域審議会の会議録を配布しております。

後程ご覧いただきたいと思っております。

以上でございます。

**松田会長** 以上で本日の日程は、全て終了しました。

次回の開催は来年3月を予定しておりますが、日程や議案内容については、正副会長に一任願いたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(はいの声)

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。

会議顛末を記載し相違ないことを証するために、ここに署名する。

会 長

副会長